
クラウド技術を活用した営業力向上ツール

概要説明書

全日本婦人子供服工業組合連合会

I . 目的並びに実施概要

昨今の急激な円安進行により、生産基盤の多くを海外に依存する、中小アパレルメーカーの調達コストが増加している。一方長期にわたるデフレ基調の中での価格転嫁が難しい環境下、多くの中小アパレルメーカーが厳しい状況におかれている。また、中小アパレルメーカーの課題として、商品企画、営業、販売管理等の全ての事業活動においてIT技術の活用が遅れている現状があり、その全てをマンパワーで行っている状況下にある。

中小アパレルメーカーの販売活動の課題として、

- ①営業現場において現实在庫を把握できない状態で営業活動を行っているケースが多く、実際の商品を持参して提案する場合、提案力に限りがある事から、販売機会の損失が多数発生している状況にある。
- ②クラウド技術をはじめとする事業活動のIT化には多大な投資が必要であり、前述の通り中小企業者にとって投資可能な活況化にない。調達コストの増加は、企業の在庫リスクを持った積極的な商品開発の抑制につながり、前述の機会損失と相まって、経営環境悪化のスパイラルに陥る恐れがある。

(目的)

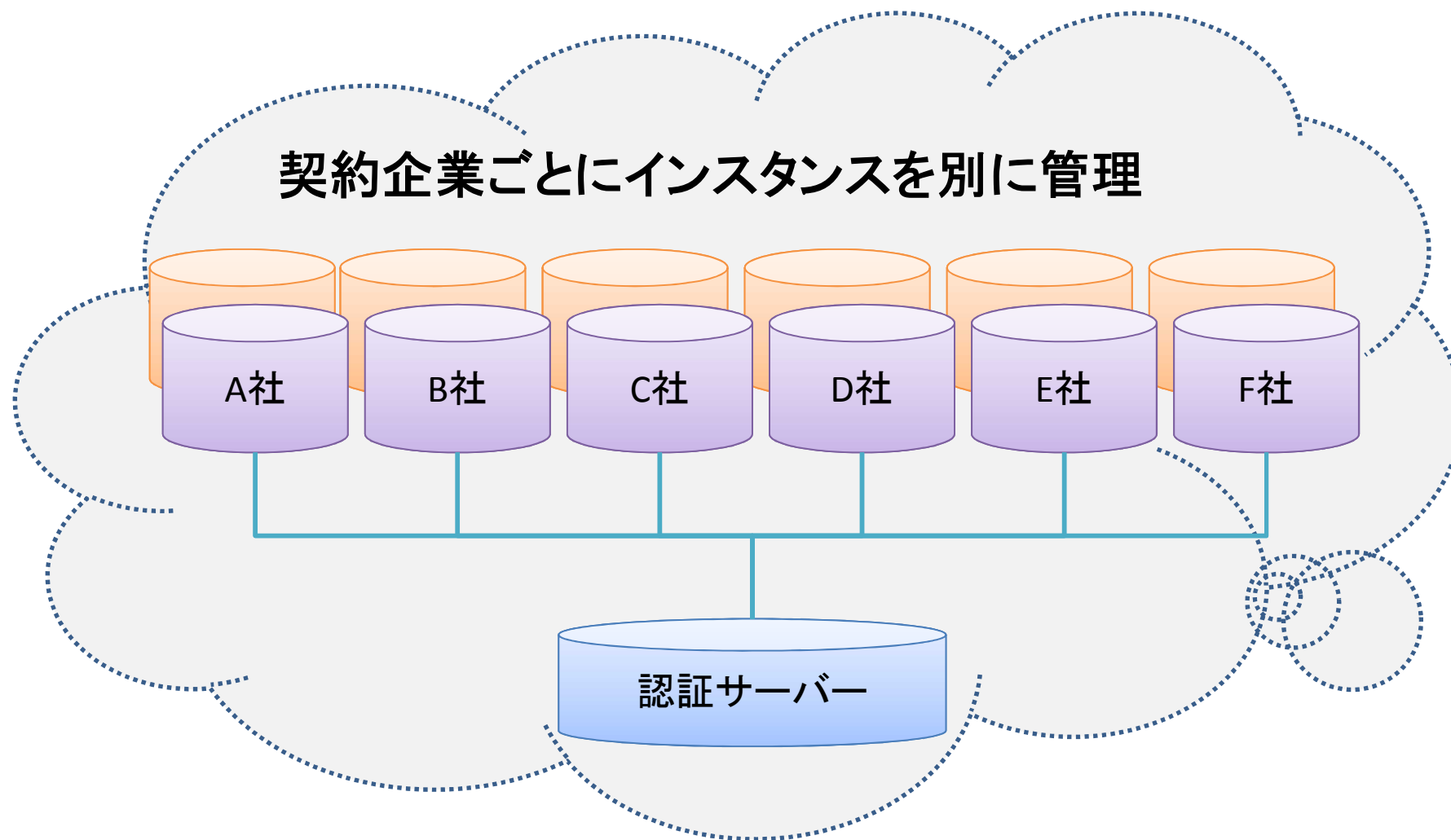
そこで「クラウド技術を活用した営業力向上の為の基盤整備」において販売先に対する企画書、提案書の共用システムを構築し、アパレルとお客様である小売店との情報共有を円滑にさせ、業務効率を向上させることを目指す。

(実施内容)

具体的には、商品在庫の管理システムを基軸に、企画書を簡便に作成するシステムや、タブレット端末を用いた営業システムを開発し、実物商品での販売活動以外に色、柄、アイテム等幅広い商品を提案できる環境を作ると共に、実在庫情報を常時把握できる内容とし、わざわざ商品在庫を確認しなくても販売活動を行うことで機会損失の解消を見込むものである。

また、画面上で様々な商品をコーディネートして提案できるシステムを実装し、デザイン、色、柄等を顧客の要望に応えるものとする。

Ⅱ.機能 - サーバー構成



Ⅱ.機能 – クラウド管理者ツール 機能説明

※1

機能	説明
①企業登録・修正	<ul style="list-style-type: none">・企業の新規登録は、運営管理者が行うものとし、企業側の管理アカウントでは修正のみとする。・企業ごとにインスタンスを分けてサービスを構築する為、企業の登録及び修正を行う。・企業ごとに、シリアルコード及びQRコードを発行し、登録企業にメールまたはPDF/紙ベースの案内資料を出力する。
②利用状況の監視	<ul style="list-style-type: none">・企業ごとにインスタンスを分けるため、使用容量・ユーザー数・ディスク使用率・メモリー使用率の一覧を表示。閾値を設定しオーバーしたところで管理者にメールを送信する。
③タスク管理の監視	<ul style="list-style-type: none">・機能によってはタスク処理を行う機能が発生するため、タスクの開始・終了・エラー等を監視し、エラーが発生したら管理者にメールを送信する。
④メール配信機能	<ul style="list-style-type: none">・運営からのお知らせ、メンテナンス情報、不具合情報など、定期的または緊急のメールを各企業の管理者あてに送信する。

Ⅱ.機能-企業別管理ツール 機能(販売活動支援) ※2

機能	説明
①管理者認証機能	<ul style="list-style-type: none">・管理者専用のログイン画面・パスワード変更機能、パスワード忘れ対応機能 ログインが成功したら場合、自身の企業の管理メニューが表示される。 1日に3回失敗したらロックをかける
②企業情報の変更	<ul style="list-style-type: none">・企業名、使用停止、使用アプリケーションの選択、使用する機能の選択(現状は未定、カスタマイズ等発生した場合オプション追加等を可能にする)・ディスクの空き容量、メモリの空き容量の変更申請を行う(リアルタイムではなく申請を受理したのち5営業日以内に行う)
③ユーザー管理	<ul style="list-style-type: none">・企業内のアプリケーションを使用するユーザーの登録、仮パスワード発行。ユーザーへの本登録を即すメール送信。・ユーザーの利用停止
④マスタ登録	<ul style="list-style-type: none">・マネキンデータ登録(男性・女性・子供程度)・壁紙データ登録・商品登録(商品コード、商品名、カラー、カテゴリ、素材、シーズン、性別、対象年齢、マネキン、関連商品コード、部位、レイヤー、在庫?など)・画像データ登録(最初はない、基本運営側で撮影し画像処理してからアップロードする)写真はネーミングルールに合致しない場合はエラーとする。
⑤オーダー管理	<ul style="list-style-type: none">・オーダー一覧の表示、CSVダウンロード機能
⑥メール配信	<ul style="list-style-type: none">・ユーザーへのお知らせ一斉メール配信、履歴(既存機能)

Ⅱ.機能 – 企業別管理ツール（企画書作成支援）

機能	説明
①管理者認証機能	<ul style="list-style-type: none">・管理者専用のログイン画面・パスワード変更機能、パスワード忘れ対応機能 ログインが成功したら場合、自身の企業の管理メニューが表示される。 1日に3回失敗したらロックをかける
②企業情報の変更	<ul style="list-style-type: none">・企業名、使用停止、使用アプリケーションの選択、使用する機能の選択（現状は未定、カスタマイズ等発生した場合オプション追加等を可能にする）・ディスクの空き容量、メモリの空き容量の変更申請を行う（リアルタイムではなく申請を受理したのち5営業日以内に行う）
③ユーザー管理	<ul style="list-style-type: none">・企業内のアプリケーションを使用するユーザーの登録、仮パスワード発行。ユーザーへの本登録を即すメール送信。・ユーザーの利用停止
④マスタ登録	<ul style="list-style-type: none">・テンプレート登録・商品登録（商品コード、商品名、商品説明、カラー、カテゴリ、素材説明、シーズン、性別、対象年齢、関連商品コード、部位など）・画像登録（商品画像、色見本画像、素材画像、コーディネート画像） 最初はなし、運用でサポート
⑤メール配信	<ul style="list-style-type: none">・ユーザーへのお知らせ一斉メール配信、履歴（既存機能）

Ⅱ.機能 – (販売活動支援)アプリ 機能説明

機能	説明
①画面構成作成	ベース作成(アイテム配置、全画面表示、メニューバー機能など)
②商品検索機能	・カテゴリ、シーズン、性別、年代、カラー、素材などにより商品を絞り込み選択したものをデスクトップに表示する
③壁紙変更機能	・選択可能な壁紙を変更できる
④着せ替え機能	・選択した洋服をマネキンの画像に重ねる。洋服の重ね着は商品に登録されたレイヤーの順番とする。 ・各方向8枚のデータがあるものは回転できるものとする。 (独自に撮影されたデータを使う場合には回転はできない。マネキンは2次元データとしぴったりはあわない。 ・作成した着せ替えデータを保存して、一枚の画像(PDF)としてアップロードする。(メール、クラウドディスク等)
⑤オーダー機能	・注文数の入力、販売条件の表示、在庫引き当て(最初はなし) オーダーデータ作成 ・顧客へ注文確認メール配信
⑥サポート機能	・お問い合わせ画面にてメール送信 ・簡単な操作マニュアル ・よくある質問のQ&A

Ⅱ.機能 – (企画書作成支援)作成アプリ 機能

機能	説明
①画面構成作成	ベース作成(アイテム配置、全画面表示、メニューバーなど)
②商品検索機能	・カテゴリ、シーズン、性別、年代、カラー、素材などにより商品を絞り込み画像を選択する機能
③テンプレート選択機能	・選択可能なテンプレート選択しページを作成する
④企画書作成機能	・企画書情報の入力(コンセプト、ターゲット、商品説明、素材説明など) ・画像のサイズ変更 ・企画書の保存
⑤カタログ	カタログの一覧表示
⑤PDF作成機能	・PDFファイルへの出力及びメールまたはクラウドへのアップロード
⑥オーダー機能	・注文数の入力、販売条件の表示、在庫引き当て(最初はなし) オーダーデータ作成 ・顧客へ注文確認メール配信
⑦サポート機能	・お問い合わせ画面にてメール送信 ・簡単な操作マニュアル ・よくある質問のQ&A

Ⅱ.機能 – (在庫管理システム)

外出先から社内在庫を確認することで、受注のタイミングを逃さない

機能	説明
①要件定義	現状調査、ヒアリング、テーブル設計(商品コード、色、サイズ、等)をヒアリングし、ニーズが多い機能と業務改善の提案
②基本設計	・要件定義をもとに、システムの基本設計を行います。基本設計では機能の一覧及び画面設計、帳票設計等を行います。 システムの具体的なイメージを詰める
③詳細設計	・前フェーズで作成した基本設計書をもとに、システムの内部設計を行う
④開発	・作成した各設計書をもとに、経過の報告・レビューなどを行う。 開発中に要望や仕様の追加が発生した場合は、出来る限り要望にお応えできるよう、機能追加を想定し、汎用性のある開発にする。
⑤テスト	正しく機能するかを確認するテストに始まり、システム処理性能に関するテスト、運用や使い易さに関するテストなど、様々な観点でテストする。
⑤汎用機能	・クラウド対応として、PC以外の機器での検証を行う
⑥システム導入	・システムを運用するのに必要な様々な情報(従業員の情報、商品の情報...)を登録するなど、システムを運用するための準備を行います。
⑦登録サポート	・説明会を開催し運用トラブルが無いよう、マニュアル作成する

運用の流れ

